

# 第13回学校水泳研究会

期日：平成25年6月8日（土曜日）午前10時～12時45分

場所：鳴門教育大学（鳴門市鳴門町高島字中島748）  
健康棟視聴覚室(E202)

主催：学校水泳研究会

後援：徳島県水泳連盟

協賛：スターテック

対象：学校教員、水泳指導者、および将来水泳指導に関わる職に就く予定の学生、水泳選手とその保護者、そのほか水泳・水辺活動に関心のある方々

10:00 開会行事

10:05～10:30 「かなづちバイバイ／サバイバル水泳術」実践報告 小学校各学年で活用できる安全水泳のためのドリル

(金子佳弘、ほか：鳴門教育大学大学院)

新学習指導要領に則した上で、確かに泳げる/溺れないための水泳学習の勘所を押しさえ、小学校の学年に対応した水上での安全力を高めるための教材を紹介します。

10:35～11:00 学習指導要領にみる学校水泳の内容の変遷

(中村竜介、ほか：鳴門教育大学大学院)

学校教育の内容は、戦後約10年毎に検討・改訂されて来ました。水泳の目標や学習内容がどのように変わって来たかを時代背景とともに検討します。

11:05～11:30 地域社会と連携した水泳・水辺の諸活動 鳴門市総合型地域スポーツクラブ NICE

(NICE：神田真奈美)

地域のスポーツの核となる総合型地域スポーツクラブにおいて、水泳および水辺活動のプログラムの実施状況と課題について検討し、市民のためのより良いスポーツ文化の創造を目指します。

11:35～12:00 地域社会と連携した水泳・水辺の諸活動 徳島ライフセービングクラブ

(徳島ライフセービングクラブ：源純夏)

ライフセービング不毛の地といわれて久しい徳島に、オリンピックがその種を蒔きました。水の事故ゼロを目指し、安全で豊かな水辺活動の場を実現するための取り組みについて紹介します。

12:05～12:45 徹底討論：我々は、水泳・水中運動の機会や場をどうやって確保していけばいいのか (参加者全員)

参加費用：無料

問合せ先：鳴門教育大学大学院 学校教育研究科

松井研究室 (088-687-6520、matsui@naruto-u.ac.jp) まで

URL <http://www.naruto-u.ac.jp/~matsui/sss/ssstop.html>

資料等の準備の都合上、参加を希望される方は、予め参加者情報(氏名、所属、連絡先住所、電話、email、等：書式自由)を Email (matsui@naruto-u.ac.jp) または Fax (088-687-6028) でお送りください。



**鳴門教育大学建物配置図**

自動車でお越しの方へ：

国道 11 号鳴門インター北約 1.5kmT 字路を東に倒れ、中山トンネル、小鳴門大橋経由で高島へ渡り、鳴門ウチノ海総合公園前を右折するルートが便利です。大学構内へは正門よりお入り下さり、第 5 駐車場をご利用下さい。